

---

# 2006年度中間決算 説明会

---

2006年 11月16日



三菱ガス化学株式会社

# 本日の出席者

---

取締役社長 **小高 英紀**

取締役  
専務執行役員 **喜嶋 安彦**

取締役  
専務執行役員 **上松 正次**

執行役員 **畑 仁**

# 本日の進行次第・配付資料

## 進行次第

1. 2006 年度 中間決算  
および 業績予想
2. 質疑応答

## 配付資料

- ・説明スライド コピー
- ・決算説明会参考資料
- ・ MGC CORPORATE  
DATA BOOK 2006
- ・ 2006年度 中間決算短信
- ・ ニュース・クリッピング集
- ・ アンケート用紙
- ・ 封筒

# 連結 2006年度中間実績

【億円】

	06年度 上期	05年度 上期	増減	増減率
売上高	2,316	2,070	246	11.9%
営業利益	198	157	42	26.5%
持分法利益	103	64	40	62.3%
経常利益	294	206	87	42.2%
税前利益	295	204	91	44.6%
中間純利益	221	148	72	48.8%

➤ 単体売上高は前年同期比  
+180億円(数量要因99億円、  
単価要因81億円)。

➤ 販売数量は全般に堅調。

➤ 原燃料価格が高騰するも、  
販売数量増加、労務費他の  
固定費減により営業増益。

➤ 連結子会社は概ね好調。

	06年度 上期末	05年度末 (`06.3.31)	増減	増減率
有利子負債	1,597	1,618	▲21	▲1.3%
総資産	5,897	5,645	252	4.5%

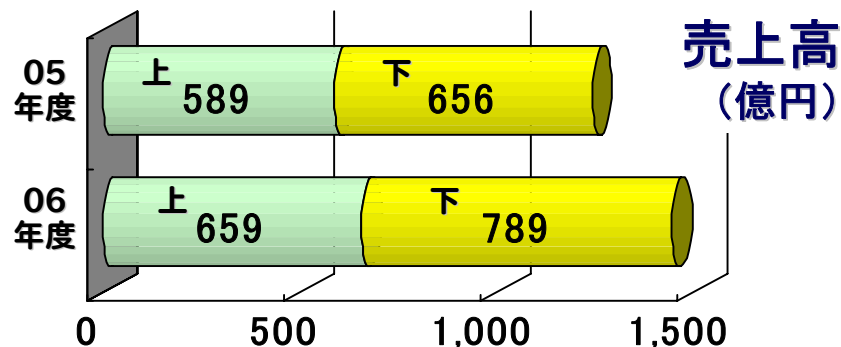
➤ 持分法利益はメノール会社の  
好調と、三菱エンジニアリングプラ  
スチックスがタイPC生産会社の配  
当収入を計上したことにより増  
益。

# 連結 2006年度中間実績（セグメント別）

【億円】

	06年度 中間実績	05年度 中間実績	増減	増減率
<b>売上高</b>	<b>2,316</b>	<b>2,070</b>	<b>246</b>	
天然ガス系化学品	659	589	71	12.1%
芳香族化学品	649	614	35	5.7%
機能化学品	685	597	88	12.7%
特殊機能材	367	308	58	23.1%
その他	6	8	▲ 2	
消去または全社	▲ 50	▲ 47	▲ 4	
<b>営業利益</b>	<b>198</b>	<b>157</b>	<b>42</b>	
天然ガス系化学品	10	24	▲ 15	▲62.5%
芳香族化学品	28	26	3	11.5%
機能化学品	78	53	25	49.0%
特殊機能材	79	49	30	59.2%
その他	2	2	0	
消去または全社	1	2	▲ 2	

# 天然ガス系化学品 実績と予想



## 上期実績

### メノール

前期に引続き高値継続。海外メノール会社の持分法利益は前年同期を上回る。

### メノール・アンモニア系化学品

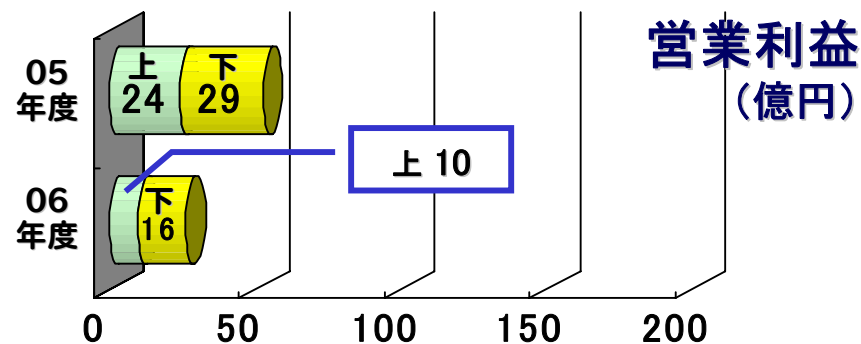
全般に需要堅調。原料価格上昇に伴い、販売価格を是正。しかし、一部製品の採算悪化や定期修繕等の影響で前年同期比減益。

### 酵素・補酵素類

コエンザイムQ10は新規参入および各メーカーの増産時期が重なり、販売価格が大幅下落。前年同期比減収減益。

### 天然ガス・エネルギー販売

原油価格の高騰で好調。



## 下期予想

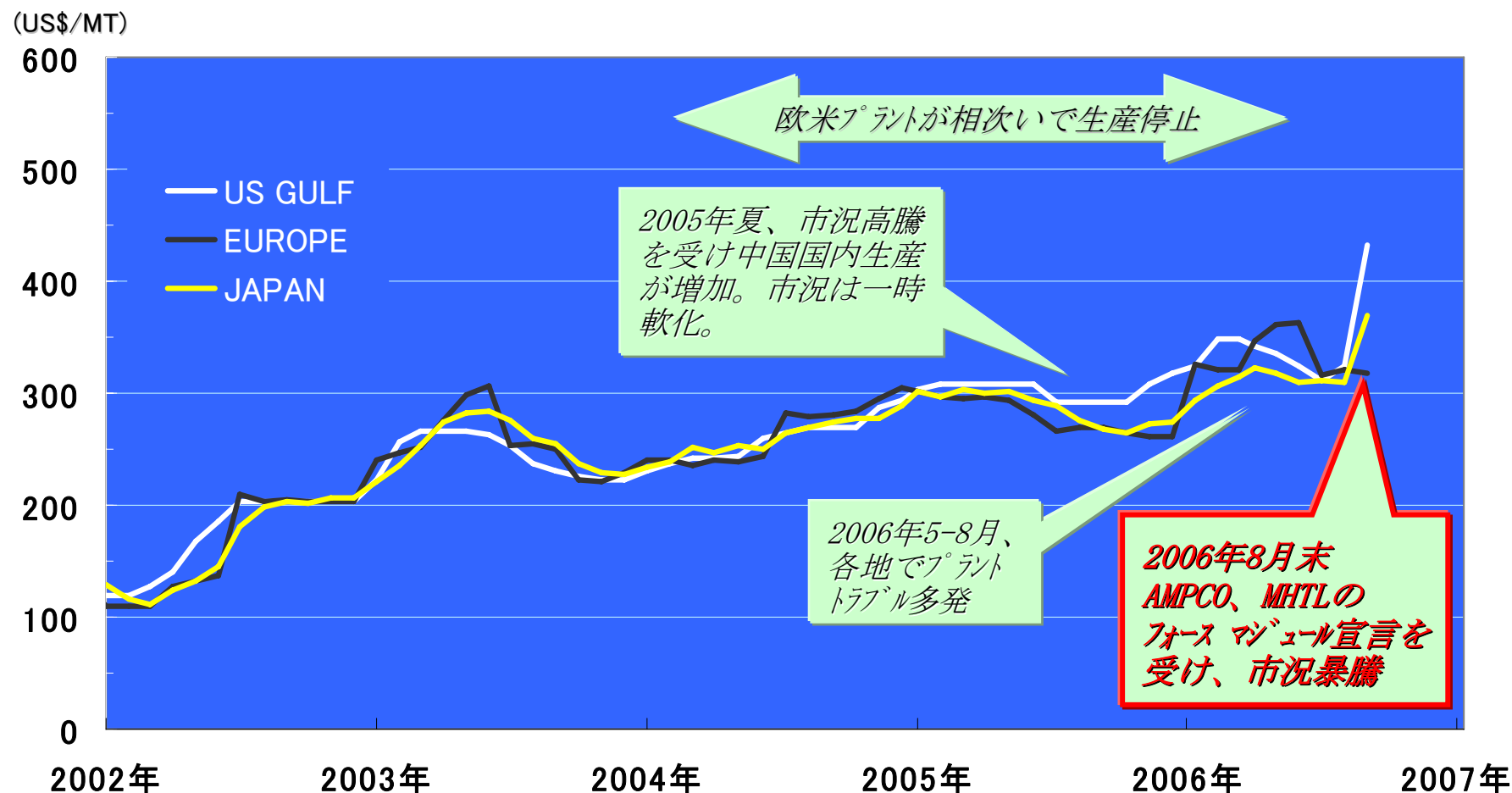
国内価格も一段と高騰。期初想定価格を大きく上回り、持分法利益は前年比大幅増加。

定修等の影響の解消、メノール高騰分の価格転嫁により改善するも、探鉱費を営業費用に計上するため、営業利益は上期並み。

コエンザイムQ10増設プラントは10月より商業運転に移行も、販売価格回復は見込めず、通期で減益。

原油高継続で堅調。

# 天然ガス系化学品 メタノール価格の推移



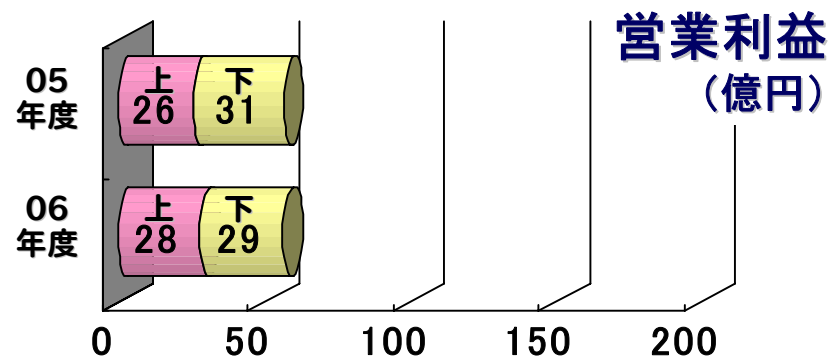
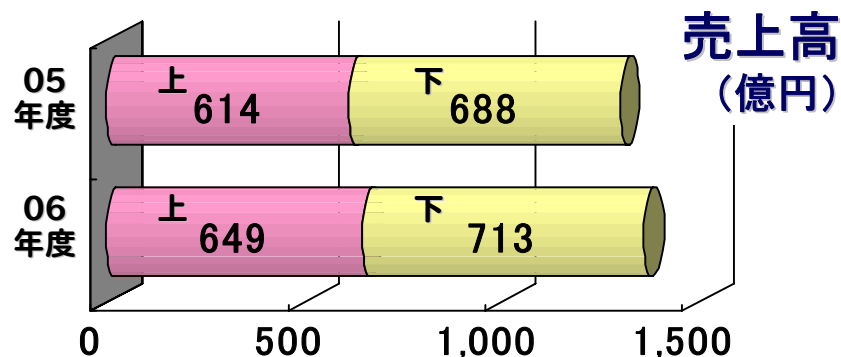
- メタノール市況：1-6月(実績) 280-300 \$/MT、7-12月(想定) 350-370 \$/MT
- 市場の沈静化には今期末までかかる。
- 海外メタノール生産会社の持分法利益は、前期比大幅増加。

# 天然ガス系化学品 トピックス

- 海外メタノール新增設計画の進捗状況
  - サウジアラビア：建設中。2008年1Q完工予定
  - ベネズエラ、ブルネイ：建設に向けた最終段階。2009年完工予定
  - 中国(重慶)：FS実施中
- 菱天(南京)精細化工有限公司にて第一期建設に着工(06/4)  
DMF 40,000t/y および DMAC 10,000t/y、2007年末の稼働を目指す
- アクリル系シート製造販売会社 日本アクリエースの出資比率引き上げ(06/9)  
MMA事業川下展開強化の一環として実施
- コエンザイムQ<sub>10</sub> 増設プラント 40t/y 完工、商業運転へ(06/10)  
水溶性Q<sub>10</sub>や高吸収性Q<sub>10</sub>も展開
- ネオペンチルグリコールの生産能力増強を計画(07中頃 実施)  
中国を中心に粉体塗料向けの需要が拡大。35,000t/yから45,000t/y体制へ。
- 新規ポリオール製品SPG、DOGの併産装置建設を決定(08/2 商業運転)  
主な用途：SPGは酸化防止剤、DOGは電子・光学材料向けUV硬化型樹脂材料



# 芳香族化学品 実績と予想



## 上期実績

### 汎用化学品

原料キシレンは高騰したが、パラキシレン、オルソキシレン、無水フタル酸の外販数量減少により、売上高は前年並み。副生するベンゼンの市況が原料キシレンほど上昇せず、減益。

### 特殊芳香族化学品

メキシレンジアミン、MXナイロンを中心に販売数量増加も、原料価格高騰の影響が大きく、減益。

AGICは高純度イソフタル酸が世界的に需給タイトで、原料高騰も、前年同期比で大幅増収増益。

## 下期予想

原料キシレン価格は軟化するものの、採算は上期の基調を継続。

値上げを進め、採算の維持・改善に努める。

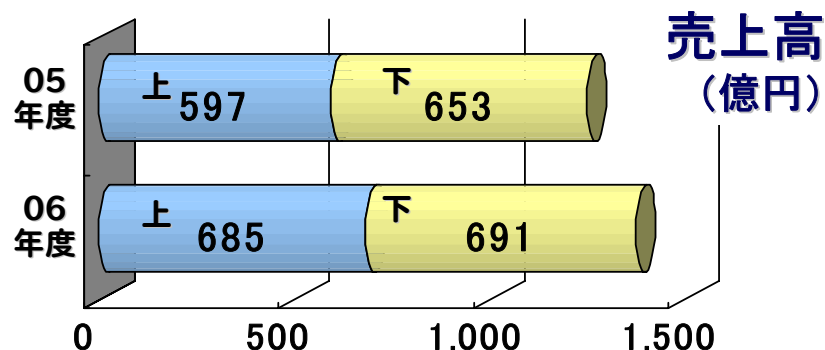
AGICはフル生産を継続。通期、大幅増収増益。

# 芳香族化学品 トピックス

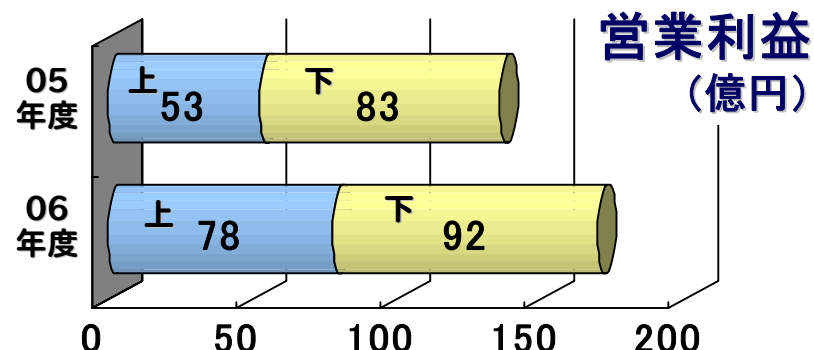
---

- 新日本石油とのキシレン合弁がスタート(06/4)  
07/4からはパラキシレンの外販より撤退し、メタキシレン系事業に特化
- メタキシレンジアミン製造装置の建設着工(06/8)  
2007年秋 商業運転開始を予定。新潟工場とあわせ 50,000t/y体制へ
- 高耐熱透明ポリイミドフィルム「ネオプリム」製造設備の新設を決定(07/6 完工)  
電子デバイス向け透明電極基板向けに展開
- AGICにて、高純度イソフタル酸製造装置の増設を計画

# 機能化学品 実績と予想



## 上期実績



## 下期予想

### 工業用無機薬品

過酸化水素は紙パ・工業薬品用途とも販売数量増加。レンズモナーも販売数量増加。

需要は上期の基調を継続。通期で前年並みの利益を確保。

### 電子工業薬品

半導体・PWB・液晶全ての分野で好調。特に大手半導体・液晶メーカー向けELMクリーンが大きく数量を伸ばす。

需要好調で、引続き販売数量の増加を見込む。

### エンジニアリングプラスチック

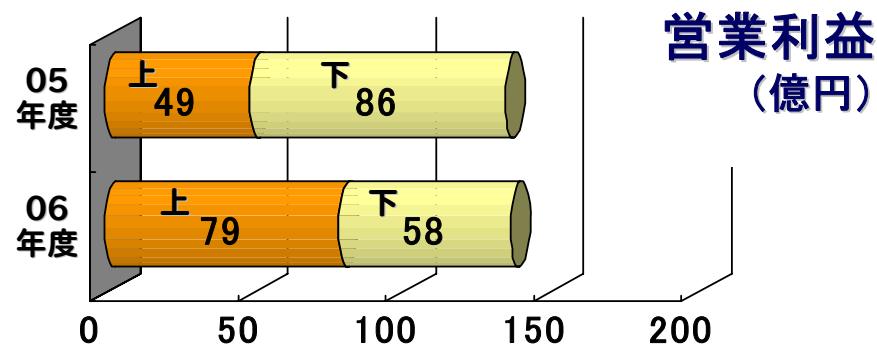
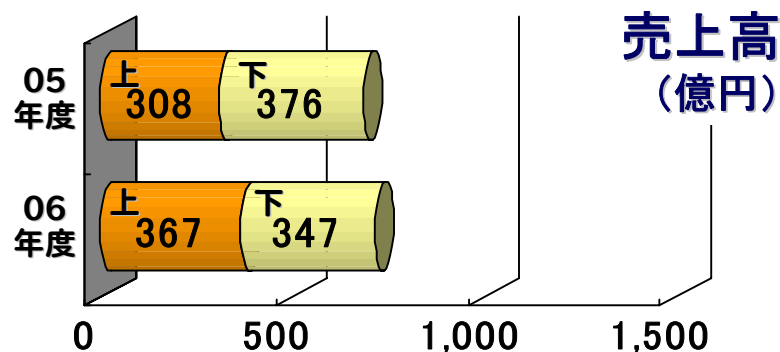
PCは価格軟化も、電気電子・自動車用途を中心に数量は堅調。POM、PCシート・フィルムは需要好調で数量増加。MEPはタイのPC生産会社から配当収入があり、増益。

原料のBPA、メノールなどの原材料価格の動向が懸念材料だが、需要はPC、POM、PCシート・フィルムとも引続き好調。

# 機能化学品 トピックス

- PC生産能力増強を実施(06/6)  
鹿島工場10万t/y ⇒ 11万t/y、タイポリカーボネート社14万t/y ⇒ 16万t/y、  
当社ブランドユーピロン生産能力は合計27万t/yへ
- POM生産能力増強を実施予定(07)  
タイポリアセタール社において、5.5万t/y ⇒ 6.0万t/y
- MGCフィルシート大阪工場にてPC ハードコートシートの生産能力増強を決定  
(07/6 商業運転)  
携帯電話、デジタルカメラ、ゲーム機、カーナビゲーションシステム等のLCDカバーシートとして  
需要が拡大
- ArF対応フォトレジストモノマー向けアダマンタン誘導体の製造設備50t/yが竣工(06/7)  
アダマンタン誘導体を中心とした複数のモノマーを生産
- 低誘電性樹脂オリゴフェニレンエーテル(OPE)の製造設備300t/yが竣工(06/7)  
主な用途：高周波対応・高速通信用プリント配線板用材料等
- 歯科用漂白材「ピレーネ®」を販売開始(06/11)  
過酸化水素の応用技術を活かして開発した、安全かつ効果の高い歯科用漂白材

# 特殊機能材 実績と予想



## 上期実績

### ➤ 電子材料

プリント配線板用材料は銅箔等、原材料価格が高騰したものの、半導体パッケージ向けBT材が上期前半は受注好調で大幅な増収増益。LEシートと高性能エポキシ材も好調。

### ➤ 脱酸素剤

主力の食品向けで競争が激化したものの、非食品向けの販売数量増加で前年同期比改善。

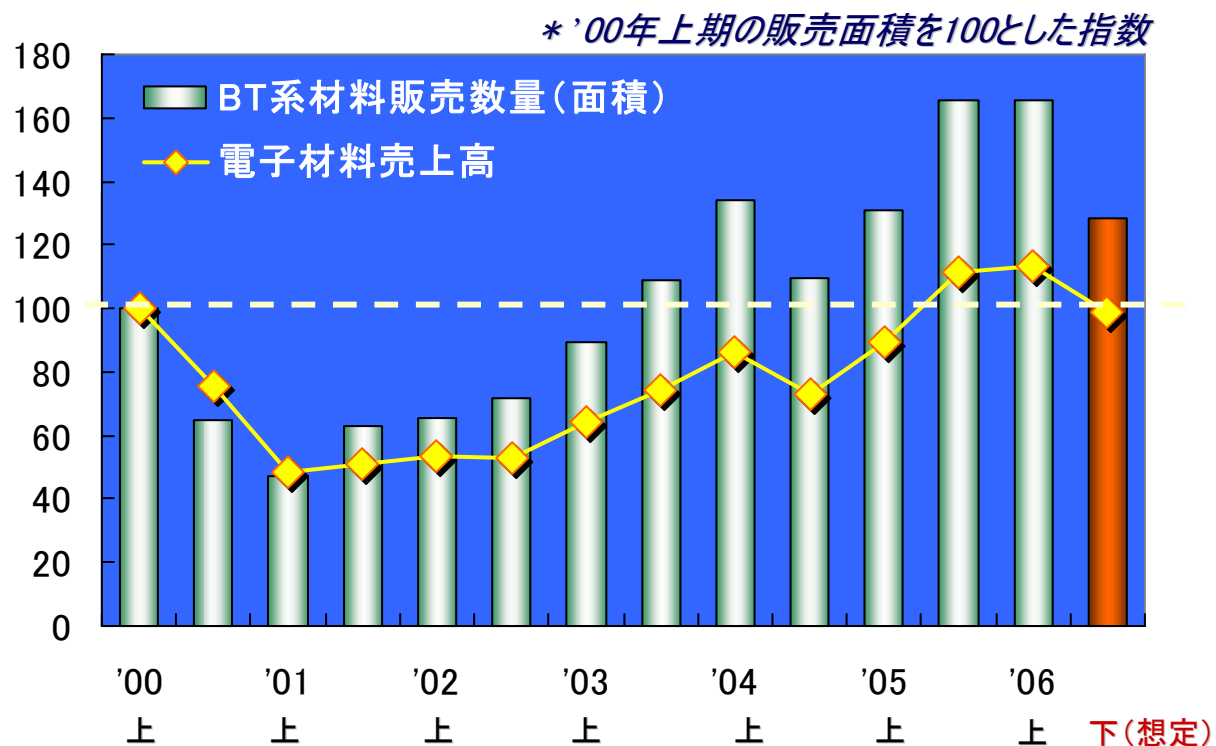
## 下期予想

7月に打出した価格是正が浸透。上期後半より始まったBT材の在庫調整は年内継続、年明け以降、緩やかに改善。LEシートと高性能エポキシ材は引続き堅調。

エージレスタイの増強設備が10月より稼働開始。更なる改善を見込む。

# 特殊機能材

## 電子材料売上高 および BT材料販売数量の推移



## トピックス

- エージレス(タイ)社にて増強設備が稼働開始(06/10)
- エレクトロテクノにて銅張積層板の生産能力増強 70万⇒100万m<sup>2</sup>/月を決定(08初頭 商業運転)

# 連結 2005年度通期業績予想

【億円】

	06年度 通期予想	05年度 通期実績	増減
売上高	4,800	4,398	402
営業利益	390	390	0
持分法利益	207	151	56
経常利益	560	504	56
税引前利益	544	441	103
当期純利益	410	329	81

- 全般に堅調な事業環境が継続。
- 原燃料価格の更なる高騰・高止まりの影響が懸念される。
- 会計方針変更に伴う営業利益への影響は、探鉱費要因 ▲14億円、出向労務費要因+16億円。
- 配当金は中間・期末とも6.0円。

# お問い合わせ先

---

三菱ガス化学株式会社

広報IR部(佐藤、輿石)

TEL 03-3283-5041

FAX 03-3287-0833

<http://www.mgc.co.jp/>

E-mail: [infoir@mgc.co.jp](mailto:infoir@mgc.co.jp)

## <見通しに関する注意事項>

当資料に記載されている内容は、いくつかの前提に基づいたものであり、将来の計画数値や施策の実現を確約したり保証したりするものではありません。



## 1. 連結 2006年度上期末 貸借対照表(対 前年度末実績)

	2006年度 上期末	2005年度 期末	増減	増減率	メモ
<b>&lt;資産の部&gt;</b>					
<b>流動資産</b>	<b>2,610</b>	<b>2,423</b>	<b>188</b>	<b>7.7%</b>	
現金・預金	334	294	40	13.7%	
受取手形・売掛金	1,440	1,286	154	12.0%	増加理由：売上高の増加など
有価証券	73	124	△ 51	△40.8%	
棚卸資産	595	555	39	7.1%	
その他	168	164	5	2.8%	
<b>固定資産</b>	<b>3,286</b>	<b>3,222</b>	<b>64</b>	<b>2.0%</b>	
有形固定資産	1,533	1,482	51	3.4%	
無形固定資産	30	33	△ 2	△7.5%	
投資等	1,723	1,707	16	0.9%	
<b>資産合計</b>	<b>5,897</b>	<b>5,645</b>	<b>252</b>	<b>4.5%</b>	
<b>&lt;負債の部&gt;</b>					
支払手形・買掛金	967	875	92	10.5%	
有利子負債	1,597	1,618	△ 21	△1.3%	
その他負債	581	559	22	3.9%	
<b>負債合計</b>	<b>3,145</b>	<b>3,051</b>	<b>93</b>	<b>3.1%</b>	
<b>&lt;純資産の部&gt;</b>					
<b>株主資本</b>	<b>2,470</b>	<b>2,278</b>	<b>191</b>	<b>8.4%</b>	
資本金・資本剰余金	775	775	0	0.0%	
利益剰余金	1,735	1,543	192	12.4%	増加理由：中間純利益 221億円
自己株式	△ 41	△ 40	△ 1	1.3%	
<b>評価換算差額等</b>	<b>196</b>	<b>234</b>	<b>△ 38</b>	<b>△16.2%</b>	
その他有価証券評価差額金	225	260	△ 35	△13.3%	
繰越ヘッジ損金	1	-	1	-	
土地再評価差額金	2	2	0	0	
為替換算調整勘定	△ 32	△ 28	△ 4	15.8%	
<b>少数株主持分</b>	<b>87</b>	<b>81</b>	<b>5</b>	<b>6.4%</b>	
<b>純資産合計</b>	<b>2,752</b>	<b>2,593</b>	<b>159</b>	<b>6.1%</b>	純資産比率 当上期末46.7% (0.7ポイント上昇)
<b>負債・純資産合計</b>	<b>5,897</b>	<b>5,645</b>	<b>252</b>	<b>4.5%</b>	

## 2. 連結キャッシュフロー

(単位: 億円)

	2006年度 上期末	2005年度 上期末	増減	メモ (2006年度上期の主な内訳)
現金・現金同等物 期首残高	406	287	119	
営業活動によるCF	113	55	58	税前利益 295億円、持分法利益 103億円、減価償却費91億円 運転資金 88億円、法人税等支払 89億円
投資活動によるCF	△ 66	△ 59	△ 7	設備資金 96億円、投融資資金等30億円
財務活動によるCF	△ 66	△ 31	△ 36	借入金・社債増減 37億円、配当金支払 29億円。
現金・現金同等物に係る換算差異	1	5	△ 4	
現金・現金同等物 純増減額	△ 18	△ 30	12	
連結追加・減少による期首増減	9	—	9	合併による現金・現金同等物増加
現金・現金同等物 期末残高	396	257	139	

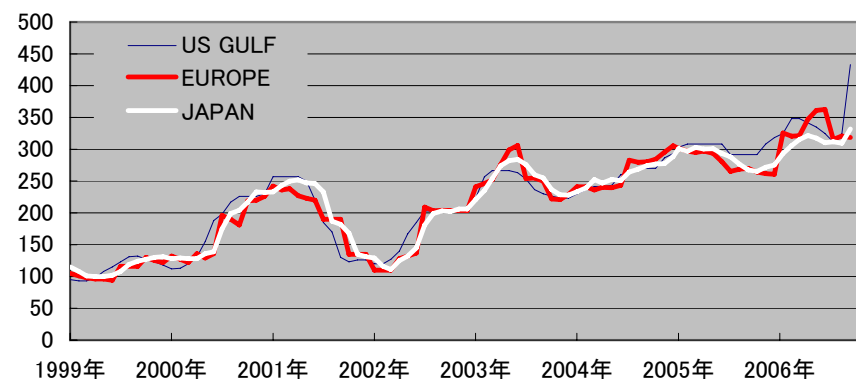
## 3. 各種指標推移(連結)

(単位:億円)

	04年度	05年度	06年度 実績・予想	増減			増減率		
				03→04	04→05	05→06	03→04	04→05	05→06
設備投資額	186	175	380	61	△11	205	48.7%	△5.9%	117.1%
(うち上期)	72	71	147	△3	△1	76	△4.1%	△1.7%	107.0%
減価償却費	194	188	200	△1	△6	12	△0.5%	△3.2%	6.4%
(うち上期)	96	90	91	△2	△6	1	△1.7%	△6.4%	1.1%
研究開発費	107	107	113	2	0	6	1.9%	0.0%	5.6%
(うち上期)	55	53	58	0	△2	5	0.0%	△3.6%	9.4%
人員 (年度末時点)	4,426人	4,466人	4,508人	△111人	+40人	+42人	△2.4%	0.9%	0.9%

	04年度	05年度	06年度 予想	増減		
				03→04	04→05	05→06
一株当り 当期利益	50.4円	71.0円	88.7円	27.5円	20.6円	17.7円
ROA (総資産経常利益率)	7.8%	9.5%	9.7%	3.8pts	1.7pts	0.2pts
ROE (株主資本経常利益率)	19.7%	22.2%	21.0%	8.6pts	2.5pts	△1.2pts
配当額	6.0円	10.0円	12.0円	2.0円	4.0円	2.0円
(うち上期)	2.5円	4.0円	6.0円	2.5円	1.5円	2.0円

メタノール国際市況 (US\$/MT)



## 4. 経営環境

	2004年度		2005年度		2006年度	
	1~6月	7~12月	1~6月	7~12月	1~6月(実)	7~12月(予)
メタノール市況 (US\$/MT)	220~240	240~260	270~290	250~270	280~300	350~370

	2004年度		2005年度		2006年度		メモ
	上期	下期	上期	下期	上期(実績)	下期(予想)	
原料キシレン 公示価格(円/kg)	59	67	69	83	99	109	
ビスフェノールA (US\$/MT)	1,100 ~1,900	1,900 ~2,200	1,200 ~2,000	1,000 ~1,300	1,200 ~1,600	1,600 ~1,700	主要平均CIF価格
ポリカーボネート (US\$/MT)	2,000 ~2,400	2,500 ~3,200	3,200 ~3,300	3,000 ~3,300	2,900 ~3,100	2,900 ~3,100	日本からの輸出通関統計数値(FOB価格ベース)
為替 (円/US\$)	110	105	110	117	110	115	

	2000年度		2001年度		2002年度		2003年度		2004年度		2005年度		2006年度	
	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期(実績)	下期(予想)
電子材料 売上高の推移	100	76	48	51	53	53	64	74	87	73	89	111	114	99
BT系材料 販売数量の推移	100	65	47	63	66	72	90	109	134	109	131	166	166	128

\* 2000年度上期を100とした場合の指数表示

## 5. 単体 2006年度 セグメント別 上期実績・通期業績予想(対前年度実績)

(単位:億円)

	2006年度		2005年度		増減			メモ
	上期実績	通期予想	上期実績	通期実績	上期比較	(ウチ価格要因) (ウチ数量要因)	通期比較	
売上高	1,698	3,585	1,518	3,265	180	(81) (99)	320	
天然ガス系化学品	459	1,046	395	842	63	(28) (35)	204	
芳香族化学品	464	1,002	469	991	▲ 5	(50) (▲55)	11	
機能化学品	497	1,017	425	923	72	(▲4) (76)	94	
特殊機能材	278	532	229	508	50	(6) (43)	24	
その他・消去	0	▲ 12	1	1	▲ 1	(-) (▲1)	▲ 13	
営業利益	97	200	90	222		7	▲ 22	
営業外損益	35	80	19	36		16	44	
経常利益	132	280	110	258		23	22	
特別損益	1	▲ 5	▲ 1	▲ 58		2	53	
税引前当期純利益	134	275	109	200		25	75	
法人税、住民税及び事業税 法人税等調整額	▲ 33	▲ 60	▲ 29	▲ 53		▲ 3	▲ 7	
当期純利益	101	215	79	147		22	68	